



画像：NASA 国際宇宙ステーション(ISS)から見た流星

2017年1月1日~7日

ざりゅうせいぐん

しぶんぎ座流星群

をみよう!

発行：福岡県青少年科学館

新年の観望始めに、しぶんぎ座流星群はいかかでしょうか。しぶんぎ座流星群は、三大流星群のひとつで、ほぼ毎年観察条件が良ければ、1時間に数十個の流星を見ることができます。出現期間は1月1日~1月7日頃までですが、観察のおすすめは3日~4日です。この日は、月明かりの影響もなく、ますますの好条件です。流星の放射点はりゅう座あたりです。しかし夜の観察では、どの方角に流れ星が出るかはわかりません。なるべく空全体を見渡し、街明かりの影響が少ない方角を中心に探してください。

また、夜はとても寒くなります。防寒具をしっかりと身につけて、風邪を引かないように気をつけて観察してください。車などでの移動の際は、路面の凍結などにもくれぐれもご注意ください。

2017年もみなさんにとってよい一年でありますように。



画像：2017年1月4日午前5時の北の空流星群放射点 アストロナビゲーターver10で作成

りゅう座付近に放射点がある流星群ですが、しぶんぎ座流星群という名前がついています。これは、かつて、このあたりに「へきめんしぶんぎ（壁面四分儀）座」という星座があったからです。「へきめんしぶんぎ座」は比較的新しい星座で、フランスの天文学者ジェローム・ラランドが1795年に作った星座です。しかし、1928年の国際天文学連合の総会で定めた88個の星座の中に含まれず、しぶんぎ座はりゅう座の一部となりました。名前が流星群だけに残るまぼろしの星座となってしまいました。